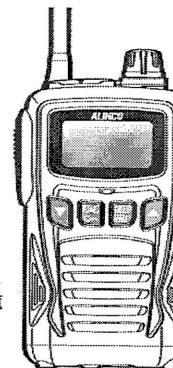


特定小電力ハンディトランシーバー
(総務省技術基準適合品)**DJ-PB27****取扱説明書**

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。



アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0022 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋セサビル14階 TEL:03-3278-5368
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区難波4丁目4番3号 難波セサビル13階 TEL:06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅前1丁目3番6号 第3福多商ビル7階 TEL:092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007

お問い合わせ窓口までお問い合わせください。

受付時間 10:00～17:00(月曜～金曜)※休日及び12:00～13:00(午睡時間)は除く

ホームページ <http://www.alinco.jp/> 「電子事業」をご覧ください。PS0611
PNH-NG**使用前の注意****ご使用環境**

高温・多湿・直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。

(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周囲、病院内など)

日本国内でのみ使用してください。
This product is permitted for use in Japan only.

通信距離

通信できる距離は高圧の状況によって大きくなります。

・島上、山間など条件のよい所 : 2km またはそれ以上
・河原など電波弱い所 : 500m ~ 1km 程度
・見通しのよい道、外の住宅地 : 500m 程度
・市街地のような複雑な地形の多い所 : 200m 程度

注意 ロードバイアスモードは、半分以下になります。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3 分割限 (3 分以上は連続で送信できません)

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。中継通話の場合も連続した中継動作は3分で停止します。

注意 3分の通信分割限により、自動的に停止した後は、2秒たたないと次の通信はできません。

キャリアセンス (受信中に送信できません)

一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ヒーフをOFFにしていると、アラーム音が鳴りません。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな緑表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死むまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死むまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
因縁	△ 記号は、注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
○ 記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。	
● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に員は約束の指示内容(左図の場合はACアダプターをコンセントから抜け)が描かれています。	

本製品の放電、調節作、不整合、あるいは導電などの外因性原因にて過熱などの機会を失ったために生じた損害などの内部性原因につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめ了承ください。

警告・注意**■ 使用環境・条件**

- この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、放電、調節作などを誤認で他人命が失われることがあるあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
- この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚や衣服を洗するそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

This product is permitted for use in Japan only.

この製品どうし、または他のトランシーバーとともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。誤障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。

運転者が使用者とする車を安全な場所に止めてからご使用ください。運転者を要する重要な運転に使用することはお勤めできません。

電源を使用している開閉時、トランシーバーの選択は第三段による弱受を完全に阻止することはできません。そのため、弱受を要する重要な運転に使用することはお勤めできません。

イヤホン・マイクロホン端子にはオプションのイヤホン・マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

衛星や水分、異物の進入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

充電池および充電器(オプション)

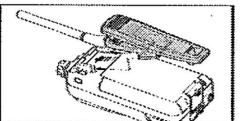
充電池、充電器および関連するアクセサリーは下記のとおりです。

- | | |
|------------|-------------|
| □ ベルトクリップ | □ 取扱説明書(本書) |
| □ ハンドストラップ | □ 保証書 |
- 注意** 充電池をご購入の日付が記載されている場合は、商品パッケージを必ず開封しないでください。ご購入日が記載されている場合は、商品パッケージを必ず開封しないでください。お買い上げの販売店またはアフターサービスセンターは無効となりますのでご了承ください。

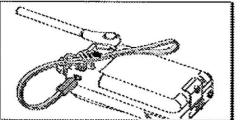
ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本機の背面にスライドさせてはめ込みます。

取り外すときはロックレバーを押さえながら下方向へスライドします。

**ハンドストラップの取り付け**

本機背面に上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

**電池の入れ方**

①カバーを開ける

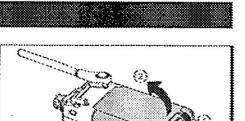
ロックを外してカバーを開けます。

②電池を入れる

+/-の表示に従って単三形乾電池3本をセットします。

③カバーを閉める

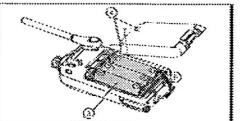
カバーを閉めロックをかけます。



種類が異なる电池や、新品と古い电池を混せて使用しないでください。

市販の単三形乾電池はご使用になれません。
しかし使用しないときは电池をトランシーバーから取り外してください。

电池を入れるまでは洗浄剤を拭きとぎください。
电池が水やダイヤルツマミは油污が付着しておらず、
乾燥剤で拭いてください。



注意 ヒーフをOFFにしていると、アラーム音が鳴りません。

充電池(トランシーバー)を無ししてつまづく充電しないときは、充電端子の汚れを拭いてから充電してください。

また、つまづくときは電池を完全に使い切って充電するスティックを買ってください。

これをすると電池が劣化して充電できなくなることがあります。

■ トランシーバー本体の取り扱いについて

電子機器の近くでは使用しないでください。
電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。

運行の安全や無線機の選択、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。

医療機器では、医療機器などに支障がない十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。

トランシーバーを使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。騒音の原因となります。

アンテナを誤って目などにささないようしてください。

長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合はACアダプターから抜いてください。

マスク部でシール類を貼らないでください。相手に音声が聞こえなくなります。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法で禁じられています。

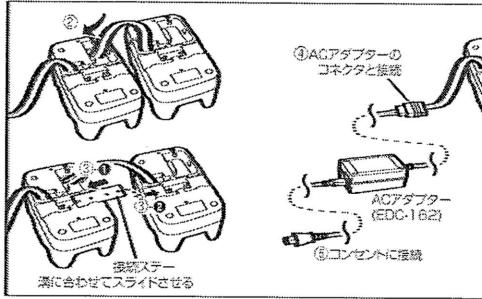
充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・

連結スタンド EDC-158Rによる充電

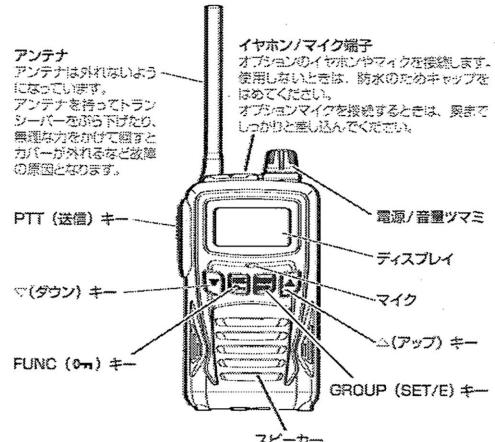
EDC-158Rを使用して連結充電する場合、必ず大容量のACアダプターEDC-162が必要です。

- ① ACアダプターがEDC-162であることを確認します。
- ② スタンドのコネクタどうしを接続します。スタンドは最大4台まで連結できます。
- ③ 付属の接続ステーをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。確実にスタンドどうしが固定されたことを確認してください。
- ④ ACアダプターのコネクタを、端のスタンドのコネクタに接続します。
- ⑤ ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
- ⑥ トランシーバーまたはバッテリーパック単品を充電スタンドのポケットに挿入します。充電が開始され赤色ランプが点灯します。
- 最大8台まで同時に充電することができます。
- 充電が完了すると赤色ランプが消灯します。

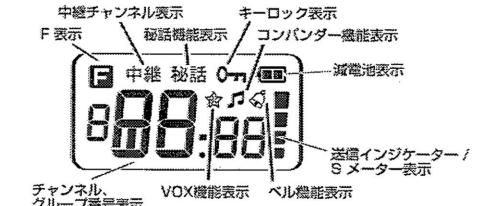


各部の名前と機能

前面部



ディスプレイ



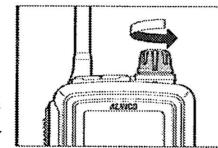
操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

互通話

電源を入れる

電源／音量ツマミを時計方向に回します。



音量を調整する

電源／音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。

マキーと△キーを同時に押すと「ザ」というノイズが聞こえ、音量の自安となります。

適切な音量を調整してください。

チャンネルを合わせる

マキーを押して互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。

通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。

キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。

ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

マイクと口元は約5cm離してください。

一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「ブブ」が鳴り送信できません。

[PTT]キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

コールトーン機能

送信中にマキーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。

マキーでは音色が異なります。

中継通話

直接の通話では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途、弊社製の中継器が必要です。

チャンネルを合わせる

マキーを押して中継通話用チャンネルのL10～18、b12～29を選択します。

→「中継」が点灯します。



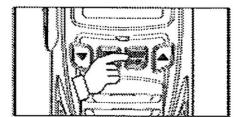
グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

ノイズや混信を低減する効果があります。

[GROUP]キーを押す

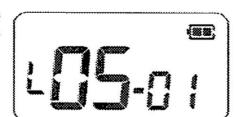
→グループ番号が点灯します。



送信する

[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。



キーロック

キーを押しても操作ができない状態を防止できます。

簡易キー

[FUNC]キーを約2秒押します。

→「Loc1」が点滅したあと「0m」が点灯します。

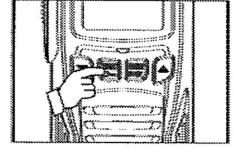
解除するには同じキー操作をします。



デュアルオペレーションモード

メイン・サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互に受信し、そのどちらとも通話することができます。

1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。



リモコンモード

本機をリモコンとして中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。本機

購入ごとに付属のモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。



→「Loc2」が点滅したあと「0m」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

セットモード

各種機能を用途や好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

- ① [FUNC]キーを押しながら[SET]キーを押します。
- セットモードに入り項目が表示されます。
- ② [SET]キーを押すごとに項目が切り替わります。
- ③ [FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
- ④ ままたはキーを押して設定値を変更します。
- ⑤ [PTT]キーを押して設定を完了します。

(メモ) セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.alinco.co.jp/> 「電子事業」

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt-AL	電池搭載（アルカリ／Li-ion/Ni-MH）	AL/Li/ni	AL
CP-oF	コンパンダー（離音低減）	OFF/ON	OFF
vo-oF	VOX（音声感知送信）	OFF/Lo/Hi	OFF
SC-oF	秘話	OFF/ON	OFF
bP-Lo	ピープ音量（操作音）	OFF/Lo/Hi	Lo
EP-on	エンドビー（送信終了音）	OFF/ON	ON
BL-oF	ベル（呼び出し通知）	OFF/ON	OFF
LP-5	ランプ	OFF/5秒/ON	5秒
PH-oF	PTTホールド（送信保持）	OFF/ON	OFF
Pt-on	PTTオンオフ（送信禁止）	OFF/ON	ON
At-2	中継器接続手順	OFF/1/2	2
Er-on	イヤホン断線検知	OFF/ON	ON
Cb-oF	コールバック	OFF/ON	OFF
Po-Hi	送信出力（Hi：10mW / Lo：1mW）	Lo/Hi	Hi
EG-oF	緊急通報機能（[SET/E]長押しで通報）	OFF/ON	OFF

故障とお問い合わせになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。 表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。 電池が消耗している。	電池を正しく入れ直してください。 新しい電池と交換してください。
音が出ない。 受信しない。	音量が低すぎる。 チャンネルが違う。	適切な音量に調整してください。 同じチャンネルに合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくってから送信するか、チャンネルを変更してください。
3分の通信制限時間を超えている。	PTTキーを離して2秒たってから送信してください。	
キー操作できない。	キーがロックされている。	キーを解除してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子を拭いてください。
	充電端子が専用品でない。	専用品 EBP-25NH、EBP-70 を使用してください。

製造終了製品に対する保有期間記載について

生産終了製品に関しては下記の一定期間修補用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
修補用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-25NH ニッケル水素バッテリーパック	EML-21AB イヤホンマイク黒（カナル型）
EBP-70 リチウムイオンバッテリーパック	EML-29A イヤホンマイク（耳かけ型）
EDC-109J ツイン充電器セット（EBP-25NH用）	EML-57A イヤホンマイク（カナル型／耳かけ型）
EDC-115 シングル充電器セット（EBP-25NH用）	EML-30A イヤホンマイク（スマートマイク）
EDC-158A ツイン充電器セット（EBP-70用）	EML-31A イヤホンマイク（マイクロスピーカー）
EDC-162 連結充電器ACアダプター	EML-52A イヤホンマイク（オープンエア型）
EDC-184A シングル充電器セット（EBP-70用）	EML-53A ヘルメット用ヘッドセット
EML-6 ストレートコードイヤホン（オープンエア型）	EML-34A イヤホンマイク（カナル型）
EML-26 カーロードイヤホン（オープンエア型）	EML-39A 明確イヤホンマイク
EML-50 ストレートコードイヤホン（耳かけ型）	EML-59 スピーカーマイク（PTTホールド、VOX機能不可）
EML-21A イヤホンマイク（カナル型）	EML-61 ソフトケース

チャンネル表

●互通話

互通話専用の20チャンネルを搭載しています。（12.5KHzステップ）

レジャー9チャンネル	ビジネス11チャンネル
L01 (422.000MHz)	b01 (422.050MHz)
↓	↓
L09 (422.300MHz)	b11 (422.175MHz)

●中継通話

中継通話専用の27チャンネルを搭載しています。（12.5KHzステップ）

レジャー9チャンネル	ビジネス18チャンネル
L10 (421.8125/440.2625MHz)	b12 (421.5750/440.0250MHz)
↓	↓
L18 (421.9125/440.3625MHz)	b29 (421.7875/440.2375MHz)

定格

送受信周波数	レジャーチャンネル	422.2000～422.3000MHz (互通)
		421.8125～421.9125MHz (中継受信)
		440.2625～440.3625MHz (中継送信)
ビデオチャンネル		422.0500～422.1750MHz (互通)
		421.5750～421.7875MHz (中継受信)
		440.0250～440.2375MHz (中継送信)
制御チャンネル		421.8000/440.2500MHz
電波形式	F3E (FM) / F1D (FSK)	
送信出力	10mW / 1mW	
受信感度	-14dB (12dB SINAD)	
音声出力	400mW 以上 (本体スピーカー) / 80mW 以上 (外部出力)	
通信方式	半双工 / 半複信	
定格電圧	DC4.5V (単三形乾電池3本)	
動作温度範囲	-10～+50°C	
寸法	幅54.8mm × 高さ94mm × 厚さ27.3mm (突起物除く)	
	アンテナ上方寸法の全高さ165.4mm	
重量	約174g (単三形乾電池3本含む / ヘルクリップ除く)	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。
本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。